



平成20年3月3日

観光まちづくりコンサルティング事業の重点支援地域決定 ～熊本県山鹿市が選定されました～

国内旅行市場の活性化とこれによる地域の活性化を図るためには、地元の観光関係者と旅行会社の連携・協働による地域独自の魅力を生かした旅行商品の創出を促進することが重要です。

そのため、九州運輸局と九州地方整備局では、平成18年6月に「九州観光まちづくりアドバイザー会議」(座長：片岡 力；長崎国際大学人間社会学部教授)を設置して、佐賀県武雄市を対象に旅行商品造成に向けたコンサルティングを実施したところです。

この度、新たに応募のあった4地域の中から熊本県山鹿市を重点支援地域に選定し、今後、地域の意向等を踏まえつつ観光資源の魅力を増進し、旅行商品の造成に向けて具体的な検討、提案等を進めていくこととしています。

【資料】 観光まちづくりコンサルティング事業について

1. 国内観光市場の現状と課題
2. 地域観光マーケティングの促進に向けた取組
(九州観光まちづくりアドバイザー会議の構成)

【問い合わせ先】

九州運輸局企画観光部観光地域振興課
(担当) 押井・嘉村
(電話) 092-472-2920

観光まちづくりコンサルティング事業について

1. 国内観光市場の現状と課題

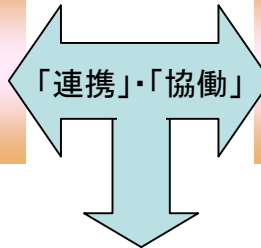
- ・国民1人当たりの宿泊旅行回数及び宿泊数の減少(1. 73回、3. 06泊(91年)→1. 73回、2. 77泊(06年))
- ・旅行者の国内旅行取扱額の減少(ピーク時の96年に比べ05年は25. 8%減少)



「プログラム」不足(ほかに、「金」、「時間」不足)

地域における課題

- ・地域関係者が一丸となった推進体制の構築が進んでない
- ・自らの地域の現状と課題の整理：オンリーワン資源等の把握が不十分
- ・観光マーケティング戦略が明確な形で描けていない



旅行業界との地域における課題

- ・観光資源の旅行商品化・流通を業としている旅行業界との連携が不十分
- ・旅行業界から地域へのアプローチが不十分
- ・どのような地域において、どのような観光まちづくりの動きがあるのかの情報が不十分

2. 地域観光マーケティングの促進に向けた取組

九州観光まちづくりアドバイザー会議の構成

佐賀県武雄市を対象としたコンサルティングの実施(平成18年6月～平成19年11月)

地域観光マーケティング促進セミナーの開催(平成19年12月10日)

- ・「地域観光マーケティング促進マニュアル」及び「地域観光マーケティング戦略シート」の配布並びに活用方法の説明



第1回アドバイザー会議の開催(平成20年2月18日)

- ・応募のあった4地域から重点支援地域として熊本県山鹿市を選定
- ・応募地域について、今後の地域の取組に関するアドバイスを検討



コンサルティング事業のための現地視察・意見交換会予定(平成20年4月～)

- ・熊本県山鹿市に対し、「観光人材育成」「魅力の発掘・増進」「旅行商品化に向けた提案」等のアドバイスを実施

片岡 力	長崎国際大学 人間社会学部 国際観光学科 教授
桑野 和泉	社団法人ツーリズムおおいた 会長
井手 修身	アイデアパートナーズ株式会社 代表取締役社長
甲斐 和郎	九州観光推進機構 国内誘致推進部長
山下 真輝	株式会社JTB九州 地域活性化事業推進室室長
剣菱 英明	株式会社日旅九州エンタプライズ 代表取締役社長
奈良迫英光	近畿日本ツーリスト株式会社 旅行事業創発本部地域振興課長
日下部一成	西鉄旅行株式会社 営業推進部長
池田 孝昭	株式会社日本内外旅行 代表取締役社長
中春 省一	社団法人日本旅行業協会 九州支部事務局長
徳永 雅典	社団法人全国旅行業協会 九州地方協議会議長
中堀 雅好	社団法人日本観光協会 九州支部事務局長
中野 幹子	九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部営業部販売一課副課長
横江 建三	株式会社日本航空インターナショナル 福岡支店販売部長
浅田 康夫	全日本空輸株式会社 福岡支店 販売計画部長
森北 佳昭	国土交通省九州地方整備局 企画部長
山口 一朗	国土交通省九州運輸局 企画観光部長